

# 龍雲寺 花園会報

二千十二年お正月号

監修 細川景一 編集 細川要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>

○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/r/r/yuuunji/>

〒一五四一〇〇三

東京都世田谷区野沢三三三八一

TEL 〇三三四二一〇三三八

FAX 〇三三四一八一九八六三

## ごあいさつ

住職 細川 景一

三月十一日、東日本大震災が発生して十カ月余、平成二十四年の新春を迎えました。皆様方には、それぞれの思いで新春を迎えられた事と思います。

死者、行方不明者二万人以上、全半壊した家屋二十五万戸以上、まさに想像を絶した大震災。加えて福島第一原発事故を誘発し、多数の人々が避難を余儀なくされ、私どもが今までに体験した事のない大災害です。

前回の会報にお願いしました東北地方妙心寺派花園会員へのお見舞いに就いては、早速大勢の方によりご協力を頂戴し十一月末現在、尙百五十万円を越えました。早速に本山花園会本部にお送りさせて頂きました。皆様方の暖かいお気持ちに心より感謝申し上げます。

さて、小柄こと第六次四国八十八ヶ所巡拝に始めて参加し昨年十一月無事満願を迎える

事ができました。山中にある寺、街の中の寺何百段も石段のある寺もあり、いろいろな寺を一ヶ寺一ヶ寺、般若心経を誦し参拝させて頂きました。「遍路」とは「路の遍く」の意で札所を通過門として礼拝祈願をしながらその途中に身心を養う事を目的とするそうですが、単調な中にも何かしら心に響くものを感じた人は私だけではなかったと思います。

一度は行つて見たいと思いつながら、なかなか機会がない。しかし、思い切つて行つて見ると意外とあっさり出来るものです。苦しい時もあります、楽しい時もあり、道中を楽しむお遍路さんもいろいろではないでしょうか。インドに旅した人は二度と行きたいと思わない人と、もう一度是非行つて見たいと思う人があつたそうです。四国遍路も、もう一度行つて見たいと思う昨今です。

## 行事予定

1月7日(日) 大般若会  
16日(月) 初釜(於南薫亭)  
2月8日(水) 開山忌

3月5日(月) 東京教区奉詠大会(於龍雲寺)

20日(火) 彼岸会

4月10日(火) 第7次四国八十八ヶ所巡拝

5月7日(月) 第3次西国三十三観音巡礼

6月未定 第132回三峰榛名講

7月6日(金) 七夕飾り・茶会(於南薫亭)

13日(金) 15日(日) お盆の棚経

17日(火) 施餓鬼会

8月3日(金) 5日(日)

龍雲寺盆踊り大会

(於環七龍雲寺駐車場)

15日(水) 17日(金)

第7次妙心寺お精霊送りと

五山の送り火の旅

9月22日(土)

彼岸会

10月6日(土) 第9回天満敦子ヴァイオリンコンサート(於本堂)

## 大般若会

平成二十三年一月七日(日) 於・龍雲寺本堂

十一時〜御詠歌奉詠

十一時半〜法話

正午〜法要 法要終了後から昼食会

※お申し込み不要、会費は一家族二千元  
今年別便のご案内は出しません。皆様お誘いあわせの上一人でも多くご参加下さい。

第六次四国八十八ヶ所巡拝結願

十一月七日～十日

第一次奥州三十三観音巡礼結願

十月二十三日～二十七日

妙心寺派御詠歌

第六十一回全国奉納大会

十月十八日～十九日



## 大般若会とは？

唐の玄奘三蔵法師がインドから持ちかえり四力年を費やして翻訳された最大の教典「大般若波羅蜜多經」六百巻を転読、祈禱する法要です。

仏前には、悪心を取り除く働きのあるといわれる「十六善神」の尊像を掛け人間としての真の幸福と世界平和を祈願する法要で、中国では長い歴史の中で鎮護国家と除災招福を願う重要な祈禱会とされてきました。

日本では文武天皇の大宝三年（七〇三）に行われた記録が「続日本紀」にあります。新しい年を迎えて今年一年の息災を祈ろうではありませんか。

## 禅・仏教公開講座

一月二十一日(土) 午後二時～四時

「大慧宗杲禅師」 野口善敬師  
「不干斎フアビアン」 安永祖堂師

二月十一日(土) 午後二時～四時

山川宗玄老師

お問い合わせ先

○臨済宗妙心寺派東京禅センター

世田谷区野沢二三八一（龍雲寺会館内）

TEL ○三三五七九二八〇〇

FAX ○三五七七九二八〇一

メールアドレス: zen@yoshin-zen-c.jp

HP: <http://www.yoshin-zen-c.jp/>

## 早朝洗心坐禅会

毎週日曜日 朝六時半～八時半

会費 無料

## 写経会

毎月第二土曜日 一時～四時

(但し、七月、八月はお休み)

## 龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

A (一五〇×一五〇) 永代使用料百二十五万円  
B (一五〇×一四〇) 永代使用料百一四万円  
A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の金額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

## 納骨堂

(お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方達が、ご不幸があつてあわてて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の真裏に建てました。

いつもお参りの方がいらしています。

## 募集中!

## わらべ地蔵を被災地へプロジェクト

※皆で手彫りをした、わらべ地蔵を被災地へ届けよう! 京都より仏師、富田珠雲師・睦海師をお招きし、ご指導を迎え参加者の皆様に「わらべ地蔵」を彫像して頂き、この「わらべ地蔵」は被災地で主に、お子様を亡くされた、ご遺族に寄贈致します。

三月六日に松島の瑞巖寺様にて開眼供養。定員になり次第〆切りです。

日時 ①三月二日(金)・②三日(土)

①と②共に午前十時～五時

場所・お申し込み 龍雲寺

参加費 三千五百円(当日集金)

彫刻刀等と昼食は、ご用意してあります。一日で完成しますが、未完成の方は翌日参加可能です。可愛い小さな、わらべ地蔵です。どなたでも、お気軽にお申し込み下さい。



# 募集中!!

## □第七次第一回四国八十八ヶ所巡拝

四月十日(火)〜十三日(金) 三泊四日

会費十万六千円(納経料と拝観料は別途)

一番霊山寺〜二十九番国分寺まで。住職と寺庭が引率。龍雲寺集合・解散、羽田空港・現地集合可。バス・タクシー・ロープウェイ等を使って巡拝。輪袈裟・経本・白衣は龍雲寺より進呈。春と秋の計二回二年で結願。高野山、妙心寺へも参拝。今回は一番からスタートします。今まで二百人の方が満願されています。二名一室等の希望も可。

## □第三次第一回西国三十三観音巡礼

五月七日(月)〜十日(木) 三泊四日

会費十万三千円(納経料別途)

龍雲寺からバスで一番青岸渡寺からスタートします。二回目の会費は八万五千円位です。五月と秋の計二回、二年で満願。今回が一番スタートです。秩父三十四観音。坂東三十三観音・西国三十三観音で百観音巡礼になります。ぜひ百観音巡礼を結願して下さい。

## □第七回妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(水)〜十七日(金) 二泊三日

会費七万二千円

龍雲寺集合・解散 新幹線の駅・現地集合可。妙心寺での団体参拝・お精霊送り、妙心

寺花園会館屋上から送り火を拝めるので疲れません。ツイン・ベッドでバストイレ付、シングル・ルームや和室・大浴場も有り、川床料理や精進料理・朝粥・おやつもご用意。写仏・写経・お数珠・匂い袋・友禅染めのTシャツ作り等暑い京都を涼しく、楽しい事を考えています。お子様料金もあります。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

※いずれも定員になり次第切りめますので、お早めに。お一人でも、ご高齢の方も楽な旅です。巡拝・巡礼の旅の説明会有り。二名一室等のご希望も可。お申し込みの方には詳細をお知らせします。

## □無相教会花園流御詠歌会員募集

男性・女性どちらでも可

毎月一回 須藤芳順先生のご指導

会費は無料、お弁当代六〇〇円のみ

貸し出し用の御詠歌のお道具あり、見学自由です。全員イス席で講習を受けます。自主練習あり。(不定期)

詳細は、いつでも龍雲寺へご連絡下さい。

○他にも龍雲寺では茶道部・囲碁の会・法声会(長唄・三味線)・つなひきチーム・かっぱれ・ヨーガ等があります。

## 編集後記

○皆様、いかがお過ごしですか?一月七日の般若会で、お目にかかれるのを楽しみにし

ています。今年、住職は年男です。五黄の虎年生まれの私と辰は、どちらが強いのかな?と考えています。○住職の書齋に細川家の内仏(仏壇)があり、私の両親の位牌を住職が安置してくれたので、毎朝両親のお戒名を、お唱えしていたら父の位牌から「細川家先祖代々を最初に言いなさい!」と叱られました。今は毎朝、細川家先祖代々、次に両親と兄のお戒名をお唱えしています。父が亡くなったからも、まだ叱られています。○四国巡拝は今回七巡り目。今までに二百人近い方々が満願になりました。大変な所はタクシーやロープウェイを利用。どなたでもお参り出来ます。宿やお食事、果物やお菓子等のおやつにも気を付けています。二度目の方五人、三度目の方一人の参加も増えました。○龍雲寺で仏前結婚式が昨年は二組、今年は四月に。ご両親のご先祖様のお位牌の前で、ご親族、ご友人の方々に祝福されていました。ご先祖様がいらっしゃるなければ今の自分は存在しませんので仏前結婚式を挙げて下さって嬉しいです。○奥州観音巡礼は被災地に直接お見舞金をお届けでき、皆でお参りさせて頂きました。今回は九十歳・八十歳代の方々もバスで荷物の移動も乗り換えもなく、のんびりとした旅で宿に早く入り、皆様の顔色を見て翌朝の出発時間を決めました。巡拝・巡礼に皆様も、ぜひご参加下さい。おかげさまで山内一同元気です。今年もよろしく!

要子

# 龍雲寺 花園会報 二〇一二年春彼岸号

監修 細川 景一 編集 細川要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>  
○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuunji/>

〒一五四-〇〇〇三  
東京都世田谷区野沢三三八-一  
TEL 〇三-三四二-一〇二三八  
FAX 〇三-三四一-八一九八六三

## ごあいさつ

住職 細川 景一

「百華春至つて誰が為にか開く」

春の彼岸がやって来ました。ひとたび春風が吹けば、何処からともなく次から次へと青い芽を出し、たちまち緑をつけて、一斉に花を咲かせます。梅、桃、桜、五月、つつじ等がまさに百花繚乱と咲き乱れます。

江戸の漢学者、佐藤一斎の言葉にあります。「月を見るは精気を観るなり、円欠春翳(えんけつしゅんろう)の間に在らず。花を見るは生意を観るなり、紅紫香臭(こうしこうしゅう)の外に在す」。

月を観るのは清らかな気を観るのであって、月が丸くなったり、欠けたり、晴れたり、陰ったりする形を観るのではない。花を観るのも、その生き生きとした花の心を観賞するのであ

様子を観るのではない。

即ち花の生命、心を学ぶべきだと云うのです。「百華春至つて誰が為にか開く」。花は一体、誰の為に咲くのでしょうか。誰の為でもありません。何の為でもありません。自分の生命の赴くままに自分の全生命を無心に發揮して、天地一杯に「ただ、ただ」咲いているのです。

ただ咲いて、私たちに生き方を教え、勇気づけ、慰め、そして楽しませてくれます。しかもその功を少しも誇る事ありません。なんとすばらしい事ではないでしょうか。私たちもそうありたいと願う昨今です。

## 春季彼岸会法要

三月二十日(火) 春分の日 於・龍雲寺本堂

正午 御詠歌奉詠

午後十二時四十五分 法話 本山布教師

午後一時半 法要

※手作りの、おはぎとお漬物をご用意しています。皆様お揃いでお参りください。

## 行事予定

五月 七日(月) 第三次西国三十三観音巡礼

六月 十三日(水) 第三百三十二回三峰榛名講

七月 六日(金) 七夕飾りを作る会

十三日(金) 十五日(日) お盆の棚経

十七日(火) 施餓鬼会

八月 三日(金) 五日(日) 龍雲寺盆踊り大会

(於・環七龍雲寺駐車場)

十五日(水) 十七日(金) 第七次妙心寺お精霊送りと

五山の送り火の旅

九月二十二日(土) 秋季彼岸会

二十五日(火) 二十八日(金) 第七次四国八十八カ所巡拝①

十月 六日(土) 第九回天満敦子ヴァイオリン

コンサート(於・本堂)

十五日(月) 十八日(木) 第三次西国三十三観音巡礼②

十一月十三日(火) 十五日(木) 全国奉詠大会

十二月中旬 龍雲寺子ども会餅つき大会

三十一日(月) 除夜の鐘

# わらべ地藏を

## 被災地へ！

三月二日・三日 百六十名参加



3月2日(金)



3月3日(土)



### ◆無相教会花園流御詠歌会員募集

毎月一回 須藤芳順先生のご指導

三月二十六日(月)・四月二十六日(木)・五月十六日(水)・六月十一日(月)・七月三日(火)の午前十一時〜十五時 会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。(木)に自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぼれ・ヨーガ等があります。

### ◆バラの中国茶会のお知らせ

バラ園のバラが美しく咲き暖かな季節を迎えます。この季節に赤い毛氈の上で野点的中国茶を楽しんでみませんか？

バラをテーマにして四つの茶席を展開し、順番に回って頂き、それぞれの茶席の雰囲気をお楽しみ下さい。

日時 五月二十七日(日) 午後一時〜三時半

場所 龍雲寺バラ園(雨天時は会館で)

会費 三千元(当日集金)

定員 二十名(四茶席) 定員になり次第〆切

申し込み先 龍雲寺

掩れ手 白石 秀典 他三名

シェラトン都ホテル東京 四川勤務

中国茶インストラクター

中国政府公認高級評茶員・中級茶藝師

## 募集中

### ◆第九回天満敦子ヴァイオリン・コンサート

日時 十月六日(土)午後三時～受付開始・整理券配布。受付開始前には整理券はお渡ししません。

会費 三千五百円(当日集金)

お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意。会場は本堂でイス席。バリアフリーで車イス対応のトイレも有ります。

### ◆花園会 祥・仏教講座 ご案内

花園大学の先生方による、禅と仏教についての講座です。

三月三十一日(土) 安永 祖堂×佐藤 研

『禅とキリスト教の出会い』

四月二十一日(土) 則竹 秀南 『未定』

中島 志朗

『恵能と心地無相会』

五月二十六日(土) 細谷 暁夫×佐々木 閑

『科学と仏教の接点』

六月 十六日(土) 竹貫 元勝

『黒衣宰相本光国師』

吉田 叡禮

『主峯宗密の融合仏教』

(敬称略)

☆時間 午後二時～五時

☆会場 龍雲寺本堂にて

☆お問い合わせ 龍雲寺まで

### ◆早朝洗心座禅会

毎週日曜日 朝六時半～八時半  
会費 無料

### ◆写経会

毎月第二土曜日 一時～四時  
(但し、七月、八月はお休み)

### ◆龍雲寺厚木墓地のご案内

聞修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

A(二五〇×一五〇)永代使用料一二五万円

B(二五〇×一四〇)永代使用料一一四万円

A Bとも納骨棺、塔婆立、拝石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の金額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

### ◆納骨堂

(お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

### ◆ご報告

#### わらべ地蔵を被災地へプロジェクト

朝日新聞や日本経済新聞に掲載されていた、松島の瑞巖寺で三月六日に行われた東日本震災の一周忌法要とわらべ地蔵の開眼供養の法要に参列させて頂きました。全国から千五百六十体のわらべ地蔵が被災者の代表の方々に手渡しされました。龍雲寺では三月二日八十名、三日も八十名参加され百六十体彫像されました。皆様が一生懸命彫像され、中には手放し難い方もありましたので、また近いうちに教えて頂く機会を作ります。以前ありました仏像を彫る会を休会していますので再開したいと思っております。

### ◆お知らせ

#### 桜のお花見

四月五日(木)午前十一時～十二時半  
龍雲寺南薫亭集合  
会費 千五百円(当日集金)

三月三十一日〆切・お申込みは龍雲寺まで。

龍雲寺では今、三本の河津桜が咲き始めています。尾長鳥・メジロ・インコ等が沢山います。のんびりゆっくり境内をご覧頂き、美味しいお昼とお菓子を一緒にいかがですか？

ご夫婦・お友達・お一人でもぜひご参加下さい♪

# 募集中!

## ■第七次第一回四国八十八カ所巡拝

※都合で九月二十五日(火)〜二十八日(金)に変更。

ぜひご参加を! (三泊四日)

会費十万六千円(納経料と拝観料は別途)

一番霊山寺〜二十九番国分寺まで。住職と寺庭が引率。龍雲寺集合・解散、羽田空港・現地集合可。バス・タクシー・ロープウェイ等を使って巡拝。輪袈裟・経本・白衣は龍雲寺より進呈。春と秋の計二回二年で結願。高野山、妙心寺へも参拝。今回は一番からスタートします。今まで二百人位の方が満願されています。二名一室等の希望も可。

## ■第三次第一回西国三十三観音巡礼

五月七日(月)〜十日(木) 三泊四日

会費十万三千円(納経料別途)

龍雲寺からバスで一番青岸渡寺からスタートします。二回目の会費は八万五千円位です。五月と秋の計二回、二年で満願。今回が一番スタートです。秩父三十四観音。坂東三十三観音・西国三十三観音で百観音巡礼になります。ぜひ百観音巡礼を結願して下さい。輪袈裟・経本・白衣は龍雲寺より進呈します。二名一室等の希望可。

## ■第七回妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(水)〜十七日(金) 二泊三日

会費七万二千円(納経料別途)

龍雲寺集合・解散 新幹線の駅・現地集合可。

妙心寺での団体参拝・お精霊送り、妙心寺花園会館屋上から送り火を拝めるので疲れません。

ツイン・ベッドでバストイレ付、シングル・ルームや和室・大浴場も有り、川床料理や精進料理・朝粥・おやつもご用意。写仏・写経・お数珠・匂い袋・友禅染めのTシャツ作り等暑い京都を涼しく、楽しい事を考えています。お子様料金もあります。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

※いずれも定員になり次第切めますのでお早めにお一人でも、ご高齢の方も楽な旅です。二名一室等のご希望も可。お申込みの方には詳細をお知らせします。

## ○茅ヶ崎市美術館企画展

### ■葦崎大村美術館所蔵

### 響きあう女性美術家の世界展

四月二十八日(土)〜六月十日(日)

十時〜十八時(入館は十七時半まで)

休館日 月曜日(但し四月三十日は開館)・五月一日(火)・二日(水)・八日(火)〜十日(木)

会場 茅ヶ崎市美術館 一般三百円

四月二十八日(土)三時〜

大村智先生・入江観先生・小川稔館長の座談会

## ○くちなしの会(グループ展)

有楽町朝日ギャラリー(有楽町マリオン十一階)

四月二十日(金)〜二十五日(水)休館日なし

午前十一時〜十九時、最終日は十六時迄

※二つの展覧会に出品させて頂いています。

ご覧頂けましたら幸いです。

細川 要子

## ★★編集後記★★

○皆様がいかがお過ごしですか? ○今回、四国八十八カ所巡拝は今まで二百人近い方々が結願されているので、お申込みの人数が少ないのも無理な気がします。九月に延期して参加者が増えるのを待ちます。今回の巡拝が結願されたら四国巡拝はお休みします。○西国巡礼は現在二十四名お申込みがあり三十名位で切ります。○わらべ地蔵の彫像は初心者が多く皆様熱中して彫像され、最初心配していたケガ人もなく本堂は檜の香りでいっぱいでした。○御詠歌は四十名の会員皆様が仲良く楽しく御詠歌をお唱えするおかげで肺活量も増えて元気です。○お花見は例年女性だけでしたが今年から男性もお誘いします。ぜひご参加下さい。ワインのご用意もあります。○龍雲寺の山内を出てレンガの塀のある所にバラ園があります。○山内一同おかげさまで皆元気にしています。季節の変わり目です。皆様お身体お大事に。

要子

# 龍雲寺 花園会報 二〇一二年お盆号

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>  
○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuunji/>

〒一五四〇〇〇三三  
東京都世田谷区野沢三三三八一  
TEL 〇三三四二一〇二三八  
FAX 〇三三四一八一九八六三

監修 細川 景一 編集 細川要子

## ごあいさつ

住職 細川 景一

「天変地異」という言葉がありますが、昨今は地震だけではありません。竜巻、台風等の天候不順が続いています。

皆様方にはお元気にお暮らしの事と、ご推察申し上げます。

「光陰矢の如く」又お盆を迎えました。お盆の行事は何時頃から始まったのでしょうか。もの本によれば齐明天皇三年（六六三年）七月に全国寺院で先祖の冥福を祈り、早く亡くなった古人を忍ぶ供養齋が行われたという記録があるそうです。

永い歴史の上に今日の盆会があるわけですから、近頃不合理不経済と云って精神的（こころ）なものもを切り捨てる風潮がままある様で残念です。盆の行事も是非、次ぎの世代に続けていきたいものです。

### 亡き人の在すが如し魂まつり

仏壇が開かれて真菰を敷き、茄子、胡瓜に芋殻の足をつけてローソクの美しい灯が流れ、線香の煙が円をえがいて消えてゆく様子は應に日

本独特の先祖を大切に作る盆会の風景です。

思えば昨今、家族の崩壊が云われています。

「家族は一つ」だと千べん万べん云ったところで家族は一つになるわけではありません。仏壇の前にあるいはお墓の前に家族が全員、先祖の霊にお参りする。この積み重ねが自然と家族は一つであると思うようになって行くのではないのでしょうか。今年のお盆から始めましょう。

わが父母はまさしく我に生きてあり

思ふに頭たち来常見くつねみしおもかげ

「窪田 空穂」

## 孟蘭盆会法要

七月一七日(火)

午前十一時

午前十一時四半

正后

御詠歌奉詠

法話

法要

※お食事をご用意しています。猛暑の中十分気をつけてお参り下さい。お申し込み不要。

## 行事予定

七月 六日(金) 七夕飾りを作る会

十三日(金)～十五日(日) お盆の棚経

十七日(火) 施餓鬼会

八月 三日(金)～五日(日) 龍雲寺盆踊り大会

(於・環七龍雲寺駐車場)

十五日(水)～十七日(金)

第七次妙心寺お精霊送り

と五山の送り火の旅

九月二十二日(土) 秋季彼岸会

二十五日(火)～二十八日(金)

第七次四国巡拝①

十月 六日(土) 第九回天満敦子ヴァイオ

リンコンサート(於・本堂)

十五日(月)～十八日(木)

第三次西国巡礼②

十一月十三日(火)～十五日(木) 全国奉詠大会

十一月二十七日(火)～三十日(金)

四国八十八ヶ所巡拝②

龍雲寺子供会餅つき大会

十二月中旬 除夜の鐘

三十一日(月) 除夜の鐘

一月七日(月) 大般若会

# 第三次

## 西国三十三観音巡礼

五月七日(月)～十日(木)



募集中

### ◆無相教会花園流御詠歌会員募集

毎月一回 須藤芳順先生のご指導

九月十日(月)・十月十二日(金)・十一月九日(金)・十二月二十五日(火)午前十一時～十五時

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。(木)に自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨーガ等があります。

### ◆第九回天満敦子ヴァイオリン・コンサート

【プロフィール】東京芸術大学在学中に日本音楽コンクール第一位、ストラディヴァリウス晩年の名作のヴァイオリン、弓は伝説の巨匠イザイ遺愛の名弓

日時 十月六日(土)午後三時～受付開始・整理券

配布。受付開始前には整理券はお渡ししません。

お申し込みはFAX／おハガキで、

住所・氏名・連絡先・参加人数を明記

会費 三千五百円(当日集金)

お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意。

会場は本堂でイス席。バリアフリーで車イス対応のトイレも有ります。

定員になり次第締め切ります。

### 書生さん紹介

伊東 正智 四十四歳

神奈川県横浜市

高野山大学 広園僧堂

龍雲寺歴 三年六ヶ月

これからも宜しくお願ひします。

坂本 宗耕 四十二歳

和歌山県和歌山市

日本大学 円福僧堂

龍雲寺歴 一年八ヶ月

毎日タラとハクの散歩が楽しみです。

脇坂 玄旭 三十二歳

京都市妙心寺山内 隣華院

千葉大学 平林僧堂

龍雲寺歴 三ヶ月

趣味はバラ園の鑑賞です。

中山 宗瑛 二十五歳

福島県福島市 東光寺

花園大学 妙心僧堂

龍雲寺歴 二ヶ月

夕方の梵鐘打ちが楽しみです。

## ◆花園会 祥・仏教講座 ご案内

花園大学の先生方による、禅と仏教についての講座です。

十一月十七日(土) 西村 恵信 師

『沢庵和尚の周辺』

中尾 良信 師

『孤高の禅師 道元』

一月十九日(土) 野口 善敬 師

『今北洪川と【禅海一瀾】』

玄侑 宗久 師

『だるまさん』

☆会費 一〇〇〇円(当日集金)

☆時間 午後二時～五時

☆会場 龍雲寺本堂にて

☆お問い合わせ・お申し込みは 龍雲寺まで

☆定員になり次第締め切ります

## ◆早朝洗心坐禅会

毎週日曜日 朝六時半～八時半

会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。

## ◆写経会

毎月第二土曜日 一時～四時

(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一卷五〇〇円

来られない方は、お写経をお渡しいたします。  
ご自宅でごゆっくりお写経をどうぞ

イス席もご用意しています。

※坐禅会と写経会は、お申し込み不要。

## ◆龍雲寺厚木墓地のご案内

聞修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

A(二五〇×一五〇)永代使用料一二五万円

B(二五〇×一四〇)永代使用料一一四万円

A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の金額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

## ◆納骨堂

(お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

## ◆NPO尚 東日本大震災復興支援

### 『浜ばっぱのぞうきん』プロジェクト

NPO尚では、七ヶ浜で支援され、町内の仮設住宅で生活する浜ばっぱを支援する活動を行います。

(※浜ばっぱとは、浜のばあちゃんという意味) 活動内容は、浜ばっぱに雑巾を縫ってもらい、その縫って頂いた雑巾一枚毎に浜ばっぱに一〇〇円が手渡されています。(※一組四〇〇円のうち三〇〇円が雑巾を縫った浜ばっぱに「報酬」と支払われ、残りの一〇〇円は送料、縫製道具、梱包代などの経費に。)

雑巾は色も大きさも違います。それは支援品のタオルを使用しているからです。そして他の雑巾との一番の違いは、浜ばっぱそれぞれの復興への思いが込められているところです。

大震災の津波で自宅を失い、先の見えない仮設住宅での生活が続いています。そんな状況でも浜ばっぱは笑顔と元気を忘れてはいけません。そして私たちはその笑顔に勇氣と元気を戴きました。そんな浜ばっぱに何か出来ることはないかと考え、この支援活動が始まりました。

被災地が、七ヶ浜が元気に笑顔になるように。被災地の浜ばっぱとこの活動にご賛同頂いた皆さんが幸せに過ごせるように。そんな支援を目指して活動していきます。

NPO尚『浜ばっぱのぞうきん』プロジェクト

宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜宇寺山三

代表 後藤 俊英

電話 〇二二二五七三二四九

FAX 〇二二二五七三二八四〇

E-mail hamabappa@live.jp

※龍雲寺にて浜ばっぱぞうきんを置いてあります。一組四〇〇円

# 募集中!

## ■第七次第一回四国八十八カ所巡拝

※都合で九月二十五日(火)〜二十八日(金)に変更。  
ぜひご参加を! (三泊四日)

会費十万六千円(納経料と拝観料は別途)

一番霊山寺〜二十九番国分寺まで。住職と寺庭が引率。龍雲寺集合・解散、羽田空港・現地集合可。バス・タクシー・ロープウェイ等を使って巡拝。輪袈裟・経本・白衣は龍雲寺より進呈。二年で結願。高野山、妙心寺へも参拝。今回は一番からスタートします。今まで二百人位の方が満願されています。二名一室等の希望も可。

## ■第七次第二回四国八十八カ所巡拝

十一月二十七日(火)〜三十一日(金) 三泊四日

今年、うるう年なので逆打ちをすると三倍のご利益があると言われています。一番から二十九番まで順打ちで、五十四番から三十番までを逆打ちします。

来年は、四月と十一月に巡拝予定です。紅葉の高野山、京都で結願の旅を終わります。

## 妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(水)〜十七日(金) 二泊三日

会費七万二千円(納経料別途)

龍雲寺集合・解散 新幹線の駅・現地集合可。

妙心寺での団体参拝・お精霊送り、妙心寺花園会館屋上から送り火を拝めるので疲れません。

ツイン・ベッドでバストイレ付、シングル・ルームや和室・大浴場も有り、川床料理や精進料理・朝粥・おやつもご用意。写仏・写経・お数珠・匂い袋・友禅染めのTシャツ作り等暑い京都を涼しく、楽しい事を考えています。お子様料金もあります。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

※いずれも定員になり次第切めますのでお早めにお一人でも、ご高齢の方も楽な旅です。大丈夫です。巡拝・巡礼の旅の説明会有り。二名一室等のご希望も可。お申込みの方には詳細をお知らせします。

※参加を迷われている方は、いつでも龍雲寺までご連絡下さい。

## ■第二次第二回西国三十三観音巡礼

十月十五日(月)〜十八日(木) 三泊四日

今回の西国は前回と同じバスで。

ドライバーさんは二人で安心して乗って頂けます。八幡谷寺からスタートで、奈良、東大寺大仏殿のすぐ近くの遊景の宿平成で二泊。東大寺・薬師堂の特別拝観等考えています。石山寺・三井寺・上醍醐寺を巡礼して、十五番観音寺で帰途に。

昨年奥州三十三観音巡礼でバスで恐山まで行き、参加下された方々が皆バスが楽だと言われてバスにしるした。

新東名高速道路も出来て、遠い所も近く感じられます。

## 編集後記

○皆様がいかがお過ごしでしょうか? ○住職はあいかわらず京都へ。少し疲れがたまっているのは? と心配しています ○新命は、妙心僧堂から戻って一年四ヶ月位経ち、大学と僧堂が京都だったので最近東京にも慣れてきました。今は花園大学の大学院生で先日高等布教の試験に合格しました。亡くなった父(故 松原泰道)も喜んでいと思います ○龍雲寺の書生さんは、私が来てから八十人を超えています。大事な息子さんをお預かりしているの健康管理に気をつけています。募集はしていませんが、ロコミで来てくれます ○私事ですが、本山で御詠歌の準講師三級の試験に合格。声も手も震えて大変でした ○バラ園は磯貝さんのおかげで今年も素晴らしい花が沢山咲きバラ園を訪れる方々も毎年増えてきて嬉しいです ○中国茶講習会も好評で、今秋、紅葉の頃に又開きます。お楽しみに ○おかげさまで山内一同、皆元気にしています ○犬のハクとタラは毎日坂本さんとお散歩。猫たちは寝過ぎ。庭の金魚やメダカは餌を競い合って食べています。お元気で

要子



# 龍雲寺 花園会報

二千十二年秋彼岸号

監修 細川景一 編集 細川要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>  
○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuuninji/>

〒一五四一〇〇〇三 東京都世田谷区野沢三―三八一―

TEL 〇三―三四二―一〇二三八  
FAX 〇三―三四一―八一九八三

## ぐあいさつ

住職 細川 景一

幾時か熱と苦しみて西風を念う  
九月西風落葉を驚かす……  
看よ、光陰、此の如く遷り易し

妙心寺の高僧東陽英朝禅師の遺文です。  
今年の夏は暑い八月でした。しかし九月に入ると、いつとはなしに西風が吹き、ハラハラ落ちる落葉にビククリさせられます。光陰矢の如く時は待つてはくれません……気がついた時には、もう「遅八刻」です。何も出来ずに終わってしまいます。ご用心!ご用心!です。

さて、彼岸を迎えました。春分と秋分を中心として、その前後の三日間にわたる一週間は「お彼岸」と呼び、その彼岸の期間に、寺院では先祖供養が営まれ、法話の時間も持たれます。檀信徒の方々は、ご先祖の墓地に家族で詣で、家庭では彼岸団子やおはぎを作つてご先祖に供えをします。

彼岸はインドや中国ではみられなかった習

慣です。春分の日や秋分の日には昼間と夜の時間の長さがちょうど同じであり、太陽が真東からのぼり、真西に沈みます。そこから仏教の中道の教え―とらわれ、こだわり、かたよりから離れた無心のところ―が連想され、西方浄土も感応でき、日本人の心に定着したのだと思います。「今日彼岸 菩提の種を 蒔く日かな」芭蕉「死んだ人々が還つてこない以上、生き残った人々は何が判ればいいのか？」ジャン・タルジューの詩の一節です。せつかくの彼岸です。故人の思いをもう一度確かめましょう。その時亡き人と対話が出来たのです。

## 秋季彼岸会法要

九月二十二日(土) 秋分の日  
午前十二時 御詠歌奉詠  
午前十二時四十五分 法話  
午後 一時三十分 本山派遣布教師 法要

※おはぎと、お漬物をご用意しています。どうぞお参り下さい。申し込み不要。

## 行事予定

- 9月23日(火)〜28日(金) 第七次四国八十八ヶ所巡拝①
- 10月3日(水)〜4日(木) 信越教区御詠歌大会
- 6日(土) 第九回天満敦子ヴァイオリンコンサート(於・本堂)
- 15日(月)〜18日(木) 第三次西国観音巡礼②
- 30日(火)〜1日(木) 第四次秩父三十四観音巡礼
- 11月11日(日) 中国茶講習会(於・龍雲寺会館)
- 13日(火)〜15日(木) 全国奉詠大会(和歌山)
- 27日(火)〜30日(金) 第七次四国八十八ヶ所巡拝②
- 12月中旬 龍雲寺子ども会餅つき大会
- 31日(月) 除夜の鐘
- 1月7日(月) 大般若会

## 募集中

### 第四次秩父三十四ヶ所観音巡礼

十月三十日(火)～十一月一日(木)  
会費 四万円(納経料は別途必要です。)

秩父三十四観音巡礼は二泊三日で満願になります。ぜひ御参加下さい。  
坂東三十三、西国三十三、秩父三十四観音巡礼で百観音巡礼となります。

☆皆様お誘いの上、又お一人でも御参加下さい

☆申込方法 申込書に必要事項を記入の上、龍雲寺まで送り下さい(FAX可)

☆締め切り 定員になり次第

☆会費の他に納経料として、納経帳三百円《重ね印》(二回目以降の方)は二百円《掛け軸五百円、おいづる二百円が三十四ヶ寺分かかります。

(例) 納経帳のみの場合三百円×三十四ヶ寺で、一万二三百円。

納経帳、掛け軸、納経用おいづる、納め札、お杖、頭陀袋等は龍雲寺でお求め下さい。

ご不明な点は龍雲寺迄どうぞお尋ね下さい。会費は、九月末までお願いします。

おいづる(白衣)、経本、輪袈裟は進呈します。宿泊先 和銅鉱泉「ゆの宿 和どう」  
集合解散 龍雲寺

### ◆無相教会花園流御詠歌会員募集

毎月一回 須藤芳順先生のご指導

九月十日(月)・十月十二日(金)

十一月九日(金)・十二月二十五日(火)

午前十一時～十五時

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。(木)に自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨーガ等があります。

### ◆第九回天満敦子ヴァイオリン・コンサート

日時 十月六日(土) 午後三時～受付開始  
会費 三千五百円(当日集金)

【プロフィール】東京芸術大学在学中に日本音楽コンクール第一位、ストラディヴァリウス晩年の名作のヴァイオリン、弓は伝説の巨匠イザイ遺愛の名弓

整理券配布。受付開始前には整理券はお渡しません。

お申し込みはFAX／おハガキで、住所・氏名・連絡先・参加人数を明記。

お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意。会場は本堂でイス席。バリアフリーで車イス対応のトイレも有ります。  
定員になり次第締め切ります。

### ◆第三回中国茶淹れ方講座

・中国茶ってどうしたら、美味しく淹れられるのだろう？

・お茶の種類によって、どんな茶器を使ったらいいのだろう？

・お湯の温度の適温は？

いろいろと疑問なところを解決したいと思えます。

ブロック別に講師が一人ついて中国茶の種類別によりよい淹れ方を提案していきます。皆様にも淹れて頂きます。

講座が終わったらきつと自分専用茶器が欲しくなると思えます。中国茶をご自宅でも、是非淹れてみて下さい。

#### 講師

白石秀典他茶藝師五名  
シェラトン都ホテル東京四勤務  
中国茶インストラクター  
中国政府公認高級評茶員中級茶藝師

#### 場所

龍雲寺会館二階

#### 会費

二千元(当日集金)

#### 定員

三十名  
定員になり次第締め切ります  
お申し込みは龍雲寺まで。

## ◆花園会 禅・仏教講座 ご案内

花園大学の先生方による、禅と仏教についての講座です。

### ◆十一月十七日(土)

西村 惠信師 『沢庵和尚の周辺』  
中尾 良信師 『孤高の禅師 道元』

### ◆一月十九日(土)

野口 善敬師 『今北洪川と「禅海一瀾」』  
玄侑 宗久師(芥川賞作家)  
『だるまさん』

☆会費 一〇〇〇円(当日集金)

☆時間 午後二時〜五時

☆会場 龍雲寺本堂にて

☆お問い合わせ・お申し込みは龍雲寺まで

☆定員になり次第締め切ります

## ◆早朝洗心坐禅会(申込不要)

毎週日曜日 朝六時半〜八時半

会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。

## ◆写経会(申込不要)

毎月第二土曜日 一時〜四時

(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一卷五〇〇円

来られない方は、お写経をお渡しいたします。ご自宅できつくりお写経をどうぞイス席もご用意しています。

## ◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A(一五〇×一五〇)永代使用料一二五万円

B(一五〇×一四〇)永代使用料一一四万円

A Bとも納骨棺、塔婆立、拝石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の金額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

## ◆納骨堂 (お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

## ◆NPO 尚 東日本大震災復興支援

『浜ばっぱのぞうきん』

※龍雲寺にて浜ばっぱのぞうきんを置いてあります。 一組四〇〇円

## 東日本大震災見舞金報告

東日本大震災発生以来、多くの人々が被災地に心を寄せ、ボランティア活動、支援物資の提供、義援金活動などに取り組んできました。龍雲寺も皆様方のご協力を得て「何が出来かを模索しながら進めて参りました。被災された東北地方の花園会員様への見舞金は三百五十余名方々よりご協力給わり本山にお送りしました。其の後、被災者への分配も終了したと聞いております。一応の区切りとして御報告させていただきます。

### 入金

二十三年 彼岸会参拝者

金十九万五千円也(その俣本山に送金)

二十三年五月〜二十四年三月 花園会志納

金貳百九拾万七千六百貳拾円也

### 支出

二十三年五月 各寺見舞ボランティア補助

金壹百拾八万七千七百四拾九円也

二十三年五月 花園会義援金

金壹百万円也

二十三年十一月 会員見舞

金壹百四拾九万六千五百円也

(不足金七十七万六千六百十九円は寺より支出しました)

計 金参百六拾八万四千八百四拾九円也

ご協力心よりお礼申し上げます。

## 第七次 妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日〜十七日

薬師寺にて



### 俳句

大文字京の送り火合掌す

大白連塔頭に咲き浄土めく

寺詣り善男善女貴船川床

石井 豊村

石井豊喜さんは九十才で今回お一人で妙心寺と五山送り火の旅に参加されました。その時の俳句です。栃の芽会、岬会に二十五年まで入会されていきました。陸軍士官学校を卒業後、陸軍大尉として終戦を迎え四年間シベリア抑留後、防衛庁等に勤務。勲四等旭日小綬章を受賞されています。著者に「俳句で日本の四季を見直す」(文芸社)等著書多数。  
(写真は管長様より緋色の輪げさを頂いた所)



### 編集後記

○猛暑の続く毎日ですが皆様いかが、お過ごしでしょうか? ○お盆の法要の時に皆様お気付きの通り書院、南薫亭が新命の考えで椅子席になり法要後のお食事も楽になりました ○お盆の棚経は、住職他十二名で皆様のお宅に伺います。皆様がお掃除をされて、お迎え下さるので、ある方は一年に一度ではなく毎月和尚さんが来てくれると家中ピカピカになると云われたとか ○私の絵の師匠の小倉遊亀先生の北鎌倉のお宅に伺った時に冷たい麦茶に少量の塩が入ってたのを思い出しました。昔の人の知恵でしょうか? ○四国巡拝や西国巡礼で使用した金剛杖をお預かりしています。お参りを終えた方にお渡ししますので、ご連絡下さい ○龍雲寺盆踊り大会は四十五回目。夜店も出て大賑わい。盆踊りの練習日は本堂に百人位来られます ○浜、ばっぱの雑巾は宮城県七ヶ浜のおばあさん達の手縫いの雑巾で、きれいで暖かみのある雑巾で大切に使用したいです。お盆の時は総代さんが完売して下さいました。お彼岸会の時も、ご用意しています。よろしく願います。今まで、皆様のご協力で十万円支援できました ○玄関先の獅子袖が沢山実を付けています。龍雲寺の庭は、良い「気」があると漢方医・気功をされている方から云われています。皆様も、お庭を散策されてみては、いかがでしょうか? 山内一同おかげさまで夏痩せもせず元気です。お彼岸で。お目にかかれるのを楽しみにしています。お元気で。

要子